



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年7月31日

上場会社名 株式会社LIXILビバ 上場取引所 東
 コード番号 3564 URL http://www.vivahome.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 渡邊 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員兼CFO (氏名) 阿部 正 TEL 048 (610) 0641
 四半期報告書提出予定日 2018年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	44,617	—	3,195	—	3,092	—	13,855	—
2018年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	309.82	—
2018年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2018年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、2019年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2018年3月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	166,543	59,785	35.9
2018年3月期	160,478	47,700	29.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 59,785百万円 2018年3月期 47,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	41.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,563	—	5,328	—	5,012	—	15,159	—	338.99
通期	182,778	2.7	10,780	30.4	10,159	32.4	18,510	265.0	413.92

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2018年3月期第2四半期(累計)につきましては、四半期財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	44,720,000株	2018年3月期	44,720,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	一株	2018年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	44,720,000株	2018年3月期1Q	44,201,319株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2018年7月31日に当社ウェブサイトで開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(4) 補足情報	8
3. 参考情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米国の保護主義的関税政策に端を発した世界的貿易摩擦の拡がりや地政学リスク等、先行きについては不透明な状況が続いております。

ホームセンター業界におきましては、消費者の節約志向などにより個人消費の回復が停滞しており、同業他社や他業種を含めた競争が一層激化し、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下、当社は「日本の生活文化にあった真のホームセンター業態を創る」というコンセプトのもと、店舗開発・商品開発の強化とサービス面の充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店としては、ハウズデコ甲子園店（兵庫県西宮市）、ピバホーム田無芝久保店（東京都西東京市）を出店いたしました。この結果、期末店舗数は91店舗となりました。

なお、当社は、経営資源の有効活用、経営効率の更なる向上を図るため、2018年4月1日付で連結子会社4社を吸収合併致しました。これにより、当第1四半期累計期間から非連結での業績開示となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高446億17百万円、営業利益31億95百万円、経常利益は30億92百万円、四半期純利益は、連結子会社の吸収合併による「抱合せ株式消滅差益」（特別利益）117億44百万円を計上したことにより、138億55百万円となりました。

※参考：2018年3月期第1四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高0.9%減、営業利益3.4%増、経常利益10.6%増、「抱合せ株式消滅差益」を除いた四半期純利益の実質前年同期比は12.0%増となります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ホームセンター事業

ホームセンター事業は、前期と当期出店店舗の売上寄与、R-50成長戦略（リフォーム関連商品の売上構成比増加）の推進によるリフォーム関連の伸長がありましたが、5月の天候不順によりその他商品部門が伸び悩み、営業収益447億14百万円となりました。セグメント利益は、総利益率の改善や既存店舗諸経費の削減活動に取り組んだ結果、27億15百万円となりました。なお、営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

※参考：2018年3月期第1四半期連結業績に対する前年同期比は、営業収益0.9%減、セグメント利益2.6%増となります。

(主要商品部門別の販売状況)

(a) リフォーム関連

R-50成長戦略に基づく施策と前期と当期出店店舗の寄与もあり、リフォーム商材の売上は伸長しました。また、工事を伴うリフォームサービスの売上も同様に伸長しております。その結果、営業収益は170億80百万円となりました。

(b) ホームセンター商材

ペットが伸長し前期と当期出店店舗の寄与もありましたが、5月の天候不順によりガーデンが不振となり、照明・インテリア・家庭用品・サイクルも伸び悩んだ結果、営業収益は175億7百万円となりました。

(c) 一般商材

前期と当期出店店舗の寄与もありましたが、5月の天候不順により特に日用品が不振となり、事務店舗用品やレジャー用品も伸び悩んだ結果、営業収益は95億60百万円となりました。

② デベロッパー事業

デベロッパー事業は、前期に既存テナントの退去が一時的に増加しましたが、その空区画については後継テナントの誘致が完了しております。営業収益は15億65百万円、セグメント利益は4億80百万円となりました。

※参考：2018年3月期第1四半期連結業績に対する前年同期比は、営業収益0.7%増、セグメント利益8.4%増となります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ60億64百万円増加し、1,665億43百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加243億36百万円(※218億54百万円)、商品の増加6億17百万円、現金及び預金の減少75億76百万円、関係会社短期貸付金を含むその他(流動資産)の減少97億67百万円(※81億21百万円)であります。

負債合計は、前事業年度末に比べ60億20百万円減少し、1,067億58百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少190億36百万円、未払費用・未払消費税等を含むその他(流動負債)の減少34億21百万円(※2億3百万円)、電子記録債務の増加162億68百万円によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ120億84百万円増加し、597億85百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加138億55百万円(※117億44百万円)、配当金の支払いによる減少18億33百万円によるものであります。

※()内の金額は、連結子会社の吸収合併による影響額となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月7日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,488	3,912
売掛金	2,640	2,533
商品	37,496	38,114
その他	13,577	3,810
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	65,199	48,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,142	45,162
土地	8,114	25,682
リース資産(純額)	23,271	23,082
その他(純額)	1,716	1,653
有形固定資産合計	71,245	95,581
無形固定資産	3,012	3,099
投資その他の資産		
差入保証金	12,166	12,227
その他	8,857	7,270
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	21,020	19,494
固定資産合計	95,278	118,176
資産合計	160,478	166,543

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,610	13,573
電子記録債務	—	16,268
リース債務	1,252	1,269
未払法人税等	1,478	1,260
賞与引当金	1,097	1,607
役員賞与引当金	36	36
ポイント引当金	270	290
その他	10,051	6,629
流動負債合計	46,796	40,934
固定負債		
長期借入金	31,000	31,000
リース債務	27,276	27,078
退職給付引当金	264	271
資産除去債務	812	817
預り保証金	6,307	6,339
その他	320	316
固定負債合計	65,981	65,823
負債合計	112,778	106,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,596	24,596
資本剰余金	4,596	4,596
利益剰余金	18,566	30,588
株主資本合計	47,759	59,780
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△58	4
評価・換算差額等合計	△58	4
純資産合計	47,700	59,785
負債純資産合計	160,478	166,543

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	44,617
売上原価	29,549
売上総利益	15,067
営業収入	
賃貸収入	1,577
その他	84
営業収入合計	1,662
営業総利益	16,730
販売費及び一般管理費	13,534
営業利益	3,195
営業外収益	
受取利息	21
保険配当金	47
その他	35
営業外収益合計	105
営業外費用	
支払利息	200
その他	7
営業外費用合計	208
経常利益	3,092
特別利益	
固定資産売却益	3
抱合せ株式消滅差益	11,744
特別利益合計	11,747
特別損失	
固定資産廃棄損	1
特別損失合計	1
税引前四半期純利益	14,838
法人税、住民税及び事業税	1,097
法人税等調整額	△113
法人税等合計	983
四半期純利益	13,855

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	ホームセンター事業	デベロッパー事業	
営業収益			
外部顧客への営業収益	44,714	1,565	46,280
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—
計	44,714	1,565	46,280
セグメント利益	2,715	480	3,195

(注) 1. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計であります。

3. ホームセンター事業の営業収益には、営業収入97百万円が含まれております。

4. デベロッパー事業の営業収益は、すべて営業収入となっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

(4) 補足情報
商品別営業収益情報

(単位：百万円)

セグメント及び商品部門の名称	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	前年同期比 (%)
	営業収益	
ホームセンター事業		
リフォーム関連	17,080	—
ホームセンター商材	17,507	—
一般商材	9,560	—
その他	567	—
ホームセンター事業 計	44,714	—
デベロッパー事業	1,565	—
合計	46,280	—

- (注) 1. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計であります。
2. ホームセンター事業の商品別の各構成内容は、次のとおりであります。
- (1) リフォーム関連 (大工用品、建築資材、住宅設備機器、電設資材等の販売、及びリフォームサービス)
 - (2) ホームセンター商材 (インテリア、照明、ガーデン、ペット、サイクル、家庭用品等の販売)
 - (3) 一般商材 (家電製品、日用品、カー用品、時計、レジャー、事務店舗用品等の販売)
 - (4) その他 (アート、クラフト、ホビー、オンラインショップ等の販売、及び営業収入)
3. ホームセンター事業の「その他」の金額には、営業収入97百万円が含まれております。
4. デベロッパー事業の営業収益は、すべて営業収入となっております。
5. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
6. 当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

3. 参考情報

前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は以下のとおりであります。

前第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	45,042
売上原価	30,244
売上総利益	14,797
営業収入	
貸貸収入	1,571
その他	77
営業収入合計	1,648
営業総利益	16,446
販売費及び一般管理費	13,356
営業利益	3,090
営業外収益	
受取利息	23
保険配当金	40
その他	49
営業外収益合計	114
営業外費用	
支払利息	195
株式公開費用	149
株式交付費	56
その他	8
営業外費用合計	408
経常利益	2,795
特別利益	
固定資産売却益	3
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産廃棄損	18
特別損失合計	18
税金等調整前四半期純利益	2,780
法人税、住民税及び事業税	1,006
法人税等調整額	△110
法人税等合計	896
四半期純利益	1,884
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,884